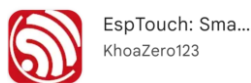


I スマートコンフィグアプリでWi-Fiと接続をします。

1. スマートコンフィグアプリをダウンロードします。

- このセンサーにはスマホのように入力する画面がないので、スマホに設定専用アプリをダウンロードして、Wi-FiのSSIDとKEYをセンサーに設定します。このアプリを「スマートコンフィグ」(Smart Config)と言います。
- スマホのOSの種類で以下の代表的アプリを選んでダウンロードしてください。



KhoaZero123



EspTouch: SmartConfig for ESP8266, ESP32 KhoaZero123



iOS (iPhone)



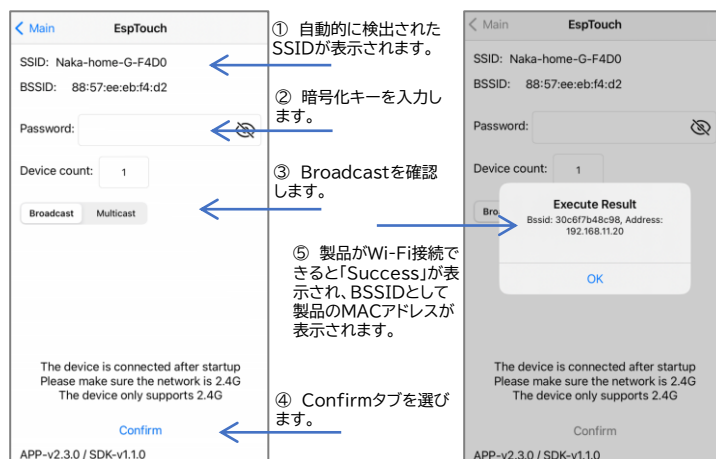
2. Wi-FiのSSIDとKEY(暗号化キー、パスワード)を用意します。

- SSID(Service Set Identifier)とはWi-Fi(無線LAN)ルーターに設定される無線の親機を識別するための名前で、全ての親機に設定されています。最大32桁の英数字で大文字と小文字を区別してつけられています。
- KEY(暗号化キー)は接続用パスワードとも書かれています。
- ルーターのSSIDとKEYはルーター工場出荷時に設定されています。背面や側面、底面などに記載されていることが一般的です。ルーターのSSIDとKEYをご自身で変更して使用しているときは、使用しているSSIDとKEYを用意します。
- Wi-Fiルーターを交換あるいは増設したときは、既存のルーターの電源を切ってから、新たにSSIDとKEYの設定を行います。
- ルーターに周波数「2.4GHz」と「5GHz」の2種類のSSIDが記載されている場合は、「2.4GHz」のSSIDとKEYを使用します。**本製品は2.4GHzのみで動作し、5GHzでは動作しません。**

3. アプリを立ち上げます。(iOSの場合)

- アプリを立ち上げると左図の画面が表示されます。
- この時画面の「SSID」に表示されているSSIDは、現在そのスマホが接続しているWi-FiルーターのSSIDです。
- もしスマートソイルセンサーをこれとは異なるWi-Fiルーターに接続したいときは、スマホのWi-Fi設定画面から現在接続されているWi-Fiルーターを切断して、接続したいWi-Fiのアドレスを選びなおしてから、再度アプリを立ち上げます。
- 画面の「Password」に「暗号化キー」を入力します。
- Device countは1のままです。
- 「Broadcast」が選択されていることを確認します。
- 次に「Confirm」(接続確認)を押します。
- 続いてセンサーの電源を入れます。

iOSの画面



4. センサーの電源を入れ、Wi-Fiとの接続をします。

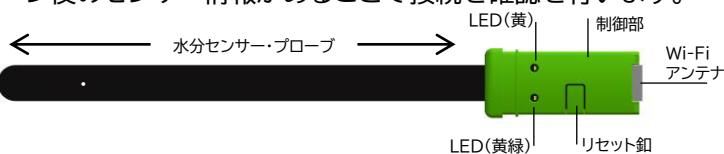
- 初めて製品に電池をセットすると黄色と黄緑色の二つのLEDランプが点滅し、その後LEDが交互に点滅しアプリにセットしたSSIDとKEYのWi-Fi接続情報がスマートコンフィグのアプリから送られてくるのを待っています。



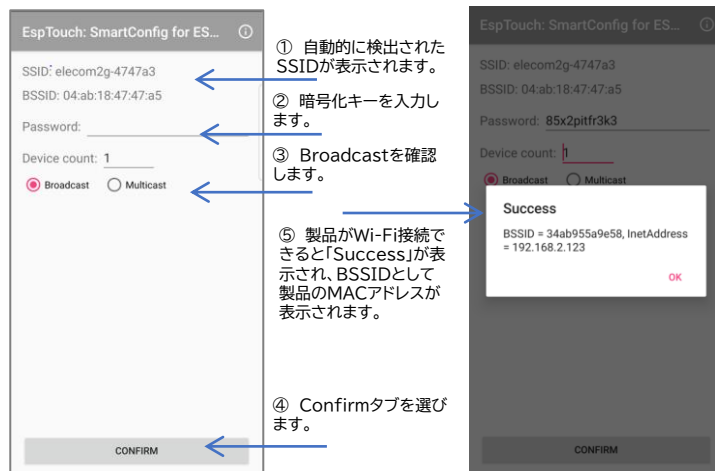
- スマートコンフィグの「Confirm」を選択してしばらく待つと接続が完了し、Execute Result(iOS)、Success(Android OS)の画面が表示されます。この画面を保存するあるいはBSSIDのMACアドレスを保存しておきます。
- Wi-Fi接続ができるとセンサーの黄緑のLEDが約5秒点滅し、その後すべてのLEDは消灯します。



- これで接続完了ですが、クラウドサービスと接続してログイン後のセンサー情報があることで接続を確認を行います。



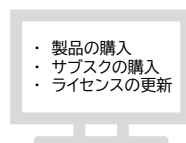
Androidの画面



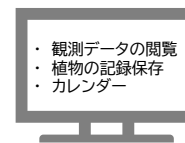
状態	LED		
	点滅時間	黄色	黄緑
リセット時	数秒	点滅	点滅
Wi-Fi未接続	約1秒間隔	点滅	消灯
Smart Config待ち	約1秒間隔	交互点滅	交互点滅
Wi-Fi接続時	数秒	消灯	点滅
通常運用時	なし	消灯	消灯

7. ショップとクラウドサービス

- この製品は、“グリーンスmart”と呼ぶクラウドサービスにインターネットを介して接続して利用します。サービスに接続することで、水分状態、温度などの観測データを見ることができます。
- このサービスに接続するには予めグリーンスmartのショップサイトでライセンスを購入する必要があります。詳しくはショップのサイトを訪問下さい。



https://greensmart.jp



https://greensmart.site



8. ユーザーの登録 <https://greensmart.site>

- グリーンスmartのサイト(<https://greensmart.site>)へ行き「新規登録はこちら」からユーザー登録をします。
- ユーザID、パスワードおよびニックネームの使用できる文字種類と文字数制限は画面の下にあります。
- メールアドレスwater@agrismart.netから登録しているメールアドレスに「通知メール」が届きます。届かないときは、迷惑メールになっていないか確認してください。
- ニックネームは、ダッシュボードに表示されます。



9. 製品のアクティベーション(ライセンス認証と初期設定)

- 製品にはMACアドレス(注)と呼ぶ製品ごとに付与された0から9の数字およびAからFまでの12個の文字で表された識別番号があります。クラウドサービスでは、この番号を用いて製品を識別、管理しています。
- MACアドレスを識別しやすいように「設定」で「MAC名称」として覚えやすい名称を付けることができます。
- 製品を初めて利用するときは、製品についているQRコードを読み取るとグリーンスmartのサイトに自動的にいきます。そこでショップで購入したライセンス番号を入力すると、製品の使用ができるようになります。
- 一つのログインIDで複数のセンサーを利用する時も同様です。
- このQRコードには製品のMAC情報が含まれていますので、剥がさないようにして下さい。



製品についているQRコードを読み取るとグリーンスmartのサイトに接続され、購入されたライセンス番号を入力する画面が出ます。

QRコードから読み取ったMACアドレスが表示されています。ショップで購入されたライセンスキー(16桁)を入力します。

ライセンスが認証されると表示され通常24時間毎に観測データが送信されます。

- 下記の10. 設定を行ってから、センサーの先端から鉢の土壤に埋め込んで安定させてください。(センサーは先端から約6cm以上土壤の中に触れていると測定できます。取扱いの注意事項は、製品説明書を参照ください。

10. 設定



- センサー情報を設定します。
- MAC名称
- センサー用途を設定します。送信間隔は1440分(24時間)が基本値です。短くすると電池の消耗が早まります。
- 通知メールは、水分状態が指定値以下となった時に送信されます。

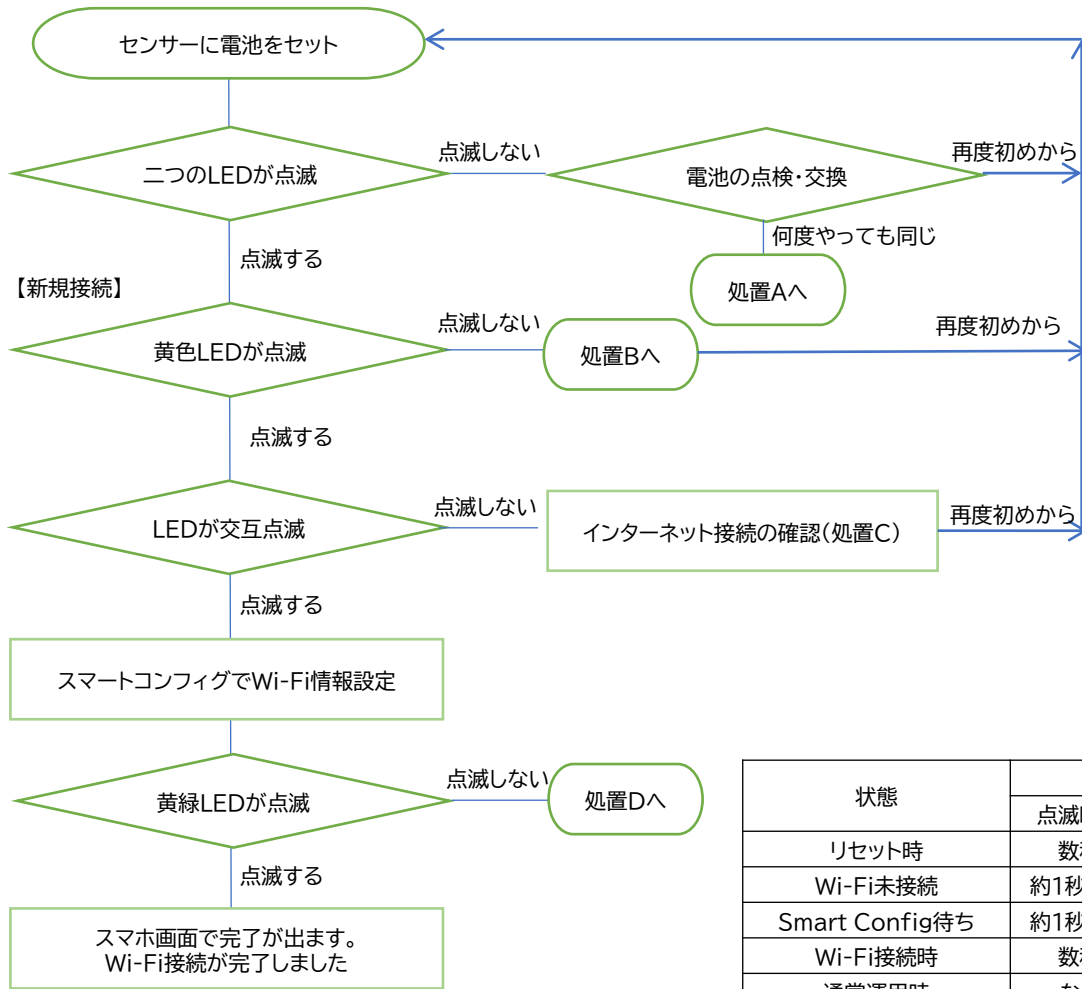
11. トップページ

TOPページ

- 最新のセンサー情報が表示されます。
- 画面最下部にメニューがあります。



センサーの電源とインターネット接続



状態	LED		
	点滅時間	黄色	黄緑
リセット時	数秒	点滅	点滅
Wi-Fi未接続	約1秒間隔	点滅	消灯
Smart Config待ち	約1秒間隔	交互点滅	交互点滅
Wi-Fi接続時	数秒	消灯	点滅
通常運用時	なし	消灯	消灯

処置A

- ・ センサーの電源が入らない状況です。
- ・ 製品の故障と思われるので、商品を返送ください。

処置B: Wi-Fi電波の確認

- ・ センサーは電源が入って、Wi-Fiの電波を待っています。
- ・ 設定しようとしているWi-FiのSSIDが、2.4GHzであることを確認してください。
- ・ センサーの近くにスマホを置いて、スマホに来ているWi-Fiの電波強度が十分あることを確認してください。

処置C: インターネットの接続確認

- ・ センサーはWi-Fiの電波は受信できていますが、スマホからのSSIDとKeyを受信する状況になりません。
- ・ この原因として、Wi-Fiを介してスマホのインターネット接続が確立していないことがあります。これはWi-Fiの環境条件で起きていることです。この時は、Wi-Fiルータのリセットをします。
- ・ スマホでインターネットの接続ができることを確認してから、再度最初からやり直します。

処置D: スマホとの通信の確認

- ・ スマートコンフィグアプリでSSIDとKeyが正しく設定されているかを再度確認して下さい。
- ・ スマホでインターネットの接続ができることを確認してから、再度最初からやり直します。

停電のとき

- ・ 停電復旧で自動的に再接続されます。 停電など長時間Wi-Fiの電波が届かない所でも動作しており電力を使用しています。

電池の点検・交換

- ・ 電池を交換するときは、電圧が1.5Vの新品の単4乾電池を使用してください。
- ・ 電池の交換をした後、既に設定したWi-FiのSSIDとKeyは保存されていますので、再設定の必要はありません。

商品の返送・交換

- ・ 商品の保証書に記載の返送方法に従ってください。